

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-14

| | |
|---|---------------------------|
| 学校名・団体名 | 八千代市立村上・村上東・村上北小学校 |
| HPアドレス | なし |
| コース | 教育研究 |
| 活動・研究 テーマ | 多文化共生！ 村上の地域で国際交流をしよう！ |
| <p>〈活動・研究の意義，目的〉</p> <p>○村上地区に居住している外国人児童・生徒が，学校を超えて交流していくことで地域への所属感を高める。</p> <p>○外国人児童・生徒の保護者が，地域教育に対する理解を深め，地域に対する信頼感を高める。</p> <p>○村上地域の外国人児童・生徒に関わる人たちが，「多文化共生」を考え，その意識を深める。</p> | |

I 実施計画に至るまでの経緯

千葉県は、全国的に見ても外国人居住者の多い県である。八千代市には南米系外国人が多く居住している。それは、日本で初めてできた工業団地があり、その労働力として企業が外国人に、仕事とともに居住の世話をしているからであると聞く。村上団地では、外国人の比率が13%を超えている。外国人にとっては、働きやすいところであろう。しかし、日本で働く外国人労働者やその子弟を取り巻く環境では、「文化や言語の違い」「日本と母国の法律や制度の違い」などから様々な混乱が生じている。そこで、地域の各機関や団体が相互に情報を共有し、労働者とともに互いの文化を認め合い、誰もが住みやすい街づくりの実現に取り組むことを目指し、平成20年に「八千代市外国人集住地域総合対策連絡協議会」を設立した。

II 「むらかみインターナショナル子どもサミット」の開催

「八千代市外国人集住地域総合対策連絡協議会」の一つの活動として、村上地区の小中学校5校の子どもたちが交流を図るように計画したものが「むらかみインターナショナル子どもサミット」である。5か年計画で始めた計画だが、地域や関連団体に好評で、交流を終わらせたくないとの声が多く聞かれ、形を変えながらも今年で7年目を迎えた。これまでの活動では、音楽・スポーツ・ダンス・料理などを通じて交流し、多文化共生への理解につながっている。また、この活動は、地域の広報誌やケーブルテレビを通じて広く地域に知らされている。学校では、児童集会や校内放送を通じて活動を報告し、外国人児童生徒以外の子どもたちにも、多文化共生の意識向上に役立っていると考えている。

今年度は、事前指導として、15分間の休み時間に「わくわくフレンドタイム」を何回か設け、外国の遊びを全校の子どもたち(希望参加)と楽しむ場を設けた。外国人児童が進行役を務めた。外国人児童の「やってみたい」という気持ちに応えることができ、彼らの小さな進歩を一つ一つ認めていけるようにした。また、外国人児童が在籍している1年生の各学級で、世界の国旗とあいさつについて勉強をした。「おはようございます」等あいさつの言葉を、英語のほかに、ポルトガル語やスペイン語等で言ってみた。講師のS先生の海外のエピソードを交え、楽しく学ぶことができた。



III 第7回「むらかみインターナショナル子どもサミット」～世界の遊びを楽しもう～

① 日時 平成27年12月8日(火) 9時30分から11時30分

② 会場 村上小学校 体育館

③ 参加者 約120名

- ・村上地区小中学校の外国人児童生徒(日本語教室対象児童を含め 約100名)及び保護者
- ・各校校長 教頭 日本語指導担当教諭 外国語協力指導員 教育委員会
- ・地域の方々(アミーゴのボランティアの方, 各校学校評議員, 千葉県警の方など)

④ 内容

第1部 『仲良くなろう!』

○村上小学校代表児童 開会宣言

○会場校 校長あいさつ

○外国人児童代表による共同宣言

- ・私たちは、様々な国の人たちと交流を深めるため、他の国の言葉を学んでいきます。
- ・私たちは、互いの国の違いを認め、文化を教え合い、助け合っていきます。
- ・私たちは、みんなが仲良くするために、話し合いをどこまでも大切にしていきます。

今日、ここに集まったみんなとともに、未来をひらき、世界に広がる学校生活を送っていくことを、ここに誓います。



第2部 『世界の遊びを楽しもう』

- レクリエーション じゃんけんゲーム ジェンカを踊ろう
- 日本の遊びで交流しよう。(村上小学校1年生1学級参加)
 - ・ 剣玉をやろう！ やり方を覚えて競争しよう。
 - ・ こまをまわそう！ 誰が1番長く回るかな。
 - ・ ジェンガをやろう！ 落ち着いてやらないとくずれちゃうよ。
 - ・ かるたとりをしよう！ やり方を覚えて、たくさんとろう。
 - ・ お手玉で遊ぼう！ お手玉の遊び方を教わろう。
- グループ対抗かるたとり大会
中学生のお兄さんお姉さんが読んでくれるので、よく聞いてたくさんとろう。



第3部 『千葉県警の方のお話を聞こう』

「こんなときどうする」という劇をしてくださり、どうしたらよいかをみんなで考えて、行動した。

第4部 『また 会おう！』

- 村上東小学校児童 閉会宣言

本活動は平成21年度より毎年継続して行っている。平成26年度より第Ⅱ期の活動に入っている。平成28年度は本年度の実施を受け、村上東小学校が幹事校となって推進する計画である。



IV 成果と課題

- 学校には他の国の仲間がいるということを知ることによって、外国や外国語への意識が高まる。
- 外国人児童生徒が学校を超えて交流することで、仲間がいるという安心感や地域への所属感が生まれる。
- 外国人児童生徒の活躍の場が増え、学習や学校生活における自信につながる。
- 日常会話には不自由しないが、教科の学習内容が十分に理解できない外国人児童生徒への日本語指導の充実が望まれる。
- 地域に住んでいる豊富な海外経験を有する企業退職者等と、情報の共有や連携のための体制づくりを進めていく。